

長岡税務署長賞

隠れたヒーロー

長岡市立旭岡中学校

三年 藤井 優羽

「新型コロナウイルス感染症拡大防止のため―」この言葉で私の中学校生活の青春は数えきれないほど奪われた。一生の思い出になるはずだった修学旅行、大好きな先輩を送り出す卒業式、全校が一つになる運動会。コロナウイルスを何度も憎んだ。

ある日、新型コロナウイルスワクチンができたことを知った。これでコロナは終息に近づくかもしれないと思い、たくさん調べることにした。すると、まずは高齢者からワクチン接種を開始することが分かった。そこで私は疑問を抱いた。「ワクチン接種をするとなると、高額な費用を負担することになって、高齢者の中にはお金がなくて接種することができない人がでてくるのではないか」と。しかし、それは国が負担、つまり税金がまかなってくれるため無料で受けられると知り、とても驚いた。私は税金と聞くと、消費税しか思いつかないくらい、税金について関心がなかった。だからもちろん税金がど

のように使われているのかも知らなかった。このワクチン接種をきっかけに、税金について調べてみると、私達学生の教科書代や誰もが救急車をどんときでも呼ぶことができるのは税金のおかげだと知ることができた。税金は、私達の当たり前を成り立たせるために使われていた。その時私の頭には「空気」という言葉が浮かんだ。どちらも意識を向ければ気がつく存在であるが、普段意識することは無い。そして、当たり前すぎて、失うことを想像できないけれど、もし失ったら今の暮らしができなくなるくらい私達を支えてくれている。「積土成山」「積水成淵」これらの四字熟語は、小さな積み重ねが大きな力になるという意味をもっている。税金は、国民一人一人の小さな力の積み重ねが、ワクチン接種の費用、学生の教科書代や授業料、そして救急車の出勤などの大きな力になっている。そのため、この言葉がぴったりだと思う。小さな積み重ねがあつて初めて大きな力になるから、今は税金を納めてくれてる大人への感謝の気持ちを持ち、私が大人になったときには、その後の日本をつくりあげる小学生や中学生のためにも税金を納めて恩返しをしたい。

コロナウイルスが終息したとき、ヒーローとして話されるのはワクチンだろう。しかし、そのワクチンを貧富の差については一切関係なく全員が打つことができるのは、税金のおかげだ。ワクチンももちろんすごいけれど、そこに隠れているもう一つのヒーローにも私は感謝をしたい。